

当行グループは、「SDGsポリシー」に基づき、事業活動と地域貢献活動の両面から持続可能な地域社会の実現に取り組んでいます。

経営計画とSDGs

経営計画「なんとミッションと10年後に目指すゴール」は、なんとミッション「地域の発展」「活力創造人材の創出」「収益性の向上」の遂行を通じて持続可能な地域社会の実現を目指すものであり、SDGsのゴールと方向性は同じです。

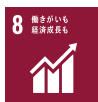


SDGsポリシー

なんとミッションである「地域の発展」「活力創造人材の創出」「収益性の向上」の遂行を通じ、持続可能な地域社会の実現に向けて、地域が抱える社会問題を主体的に解決してまいります。

重点 取組目標

当行グループでは、SDGs17項目のうち、営業エリアや事業戦略に強く関連する目標と、持続可能な地域環境保全への取組目標を中心とした7つを重点取組目標として選定しています。



【働きがいも経済成長も】
地域事業化への取組、
金融アクセス・サービスの拡充



【つくる責任つかう責任】
持続可能な消費と生産



【産業と技術革新の基盤をつくろう】
FinTech等を通じた顧客利便性向上



【気候変動に具体的な対策を】
脱炭素社会実現



【質の高い教育をみんなに】
金融経済教育の推進・拡大



【住み続けられるまちづくりを】
地域の課題に向き合い、経済と
コミュニティの活性化へ貢献



【陸の豊かさも守ろう】
持続可能な森林環境の保全

サステナブルファイナンスの取組強化

当行グループは、「サステナビリティ基本方針」に基づき、中長期的な視点で地域の課題解決に取り組んでおり、今般、「地域やお客さまのサステナビリティ課題の解決に向けた活動を支援する投融資」を「サステナブルファイナンス」と定義し、その長期目標を設定しました。

サステナビリティ基本方針

当行グループの経営理念の底流はサステナビリティそのものです。

当行グループは経営理念のもと、社会・環境問題の解決を通じてステークホルダーの求める価値を提供し続けます。

当行グループは持続可能な地域社会の実現に貢献し、当行グループの持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図っていきます。

サステナブルファイナンス長期目標の設定

定 義	地域やお客さまのサステナビリティ課題の解決に向けた活動を支援する投融資
目 標 額	1兆円(投融資累計実行額)
期 間	8年間(2023年度～2030年度)
対象範囲	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境分野・社会分野の課題解決に資するファイナンス ● お客さまのSDGs対応を支援・促進するファイナンス

奈良みらいデザインの「笠間ファーム」で有機米を生産

奈良みらいデザイン株式会社は、持続可能な農業確立を目指し、宇陀市榛原笠間地区で化学肥料や農薬を使用しない有機米の栽培に取り組んでいます。有機米の栽培は、付加価値を高めることができる一方、除草作業による生産性の低下が課題となっていたことから、同社では除草作業を省力化できる自動抑草ロボット「アイガモロボ」を導入するなど、生産コストの低減を図っています。

また、福祉施設等と連携した農福連携により、障がい者の方々の就労をサポートすることで就業人口の減少や高齢化が進む農業分野での新たな働き手の参画を進めています。

